

令和5年度 大阪府立光陽支援学校 第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立光陽支援学校
校長名	天野 ちさと

開催日時	令和5年6月 29日(木)
開催場所	本館1階 図書室
出席者(委員)	宮本 正路(委員) 鎌倉 義雄(委員) 北埜 恵一(委員) 藤川 実世(委員) リモート参加:小田 浩伸(会長) 平賀 健太郎(副会長)
出席者(学校)	天野 ちさと(校長) 道前 光司(事務長) 中村 素子(教頭) 大石 恵理(教頭) 竹内 成江(首席) 赤星 哲也(首席) 佐藤 薫(指導教諭・病弱部主事) 澤 綾子(指導養護教諭) 網中 有里(指導栄養教諭) 辻 美穂(小学部主事) 田中 美津子(高等部主事)
傍聴者	無
協議資料	下記議題関係資料
備考	

議題等(次第順)
(1) 校長挨拶 (2) 「学校運営協議会委員」及び「事務局」自己紹介 (3) 「学校運営協議会会長及び副会長」の選出 (4) 「学校運営協議会実施要項」「学校運営協議会傍聴に関する要領」の確認 (5) 本年度の予定 (6) 本年度「学校経営計画」について (7) 意見交換 (8) 教頭挨拶
協議内容・承認事項等(校長より内容説明)
(1) 校長挨拶 ・5月より、コロナ感染症が5類になり、学校生活がコロナ以前に戻りつつある。運動会・日曜参観を人数制限なしで行い、宿泊学習も順調に実施できている。本日は、様々な立場から、本校の教育活動をよりよくしていくために忌憚なきご意見をいただきたい。 (2) 「学校運営協議会委員」及び「事務局」自己紹介 (3) 「学校運営協議会会長及び副会長」の選出 ・会長に大阪大谷大学 小田様、副会長に大阪教育大学 平賀様を、全員一致で信任。 (4) 「学校運営協議会実施要項」「学校運営協議会傍聴に関する要領」の確認 ・昨年度より変更点なし (5) 本年度の学校運営協議会の予定 ・第1回6月29日、第2回12月中旬、第3回2月下旬の3回開催予定

(6) 本年度「学校経営計画」について

①「めざす学校像」については、昨年度と同様の4つの柱で取り組んでいく。

②「中期的目標」について

・「学校経営推進費」を受けた3年計画の「光陽 GoGo プロジェクト」の最終年度であり、継続して取り組んでいく。

・新たに「学校防災アドバイザー」の活用、新様式の「個別の支援計画」の活用、「安心安全な移乗支援」の実現に向け、リフト活用の推進等に取り組んでいく。

③本年度の取り組み内容について ※校長・首席より映像を見ながら説明

○「光陽グランドデザイン」

・学校の教育理念や取り組みを分かりやすくまとめたもの。3年かけて、教職員全員でつくりあげた。教育活動のもととなるものとして活用していく。

○「光陽 GoGo プロジェクト」自立活動の実践

・今年度は、モニター校からレベルアップしたモデル校として、アバターロボット(Temi・kubi・telepii)・メタバースを活用し、子どもたちに寄り添い笑顔につながる実践に取り組んでいく。

OSDGs プレーヤーとして、「届けよう服のカプロジェクト」3年目の取り組み実施。

○「光陽 GoGo フェスティバル」

・昨年度に続き開催する。本校の実践を発信し、センター的機能を発揮する。

○「ボッチャ大会」

・全国大会出場に向け、横断幕を作成中。

(7) 意見交換

・下欄に記載

(8) 教頭挨拶

委員からの意見の概要

・「学校防災アドバイザー」は常駐しているのか。

→「防災士」の資格をもっている方とのつながりがあり、外部講師という位置づけでアドバイスをいただく。

・地域の「ハザードマップ」を確認してみたい。新森は、水に漬かりやすい地域。学校は大丈夫でも、道路が浸水すれば、すぐにお迎えに来られない場合もある。地域として、情報共有しながらやっていければと思う。

・「光陽グランドデザイン」について、先生方みんなで何年間もかけてつくられたのが素晴らしい。

・アバターロボットの活用が進んでいるので、これからも楽しみにしている。

・災害時、本校ではどのように家庭に引き渡しているのか。

→「光陽安心メール」を導入している。アンケートで返答してもらい、引き渡しカードを使って、確実に引き渡すようにする。校区が広いので、すぐに引き渡せるかという課題はある。

・コロナ感染症が5類になり、小学校では原則マスクを外すことになったが、マスクを外すことに抵抗がある児もいる。本校では、感染症対策の取り組みは続いているのか。

→地域の小中学校に比べると、子ども同士の直接の関わりが少なく、大規模な感染にはつながりにくいと考えられる。マスクは任意だが、子どもに関わる時にはマスクをつけている教員が多い。手洗い・消毒等基本的な対策は引き続き行っている。

・病弱部の取り組みのお話が興味深かった。

・病弱教育について、ここ数年、各学校でICTの活用が進んでいるが、ニーズに合わせてロボットの使い分けをしているのは最先端の取り組みではないか。入院中の子どもたちの心理面でのサポートになっている。アバターロボットを使ってみてどのような効果があったか発信してもらおうと他校の参考なる。

- ・内容が盛りだくさんであったが、写真や動画、パワーポイントを使った説明があり、具体的で分かりやすかった。
- ・多彩な取り組みをされている。SDGs の取り組みを支援学校でここまでやっているところはないと思う。
- ・実践をみんなで共有していくことが、各々の専門性を高めることにつながる。
- ・コロナ禍で、子どもたちの筋緊張の状態が変わってきているを感じている。自立活動の中で、スパイダーや視線入力など様々な取り組みをされているが、原点に戻り、体のことに視点を当てた取り組みもして欲しい。自立活動の取り組みを発信してもらい、地域の小中学校の自立活動も高めていければ思う。

次回の会議日程

日時	令和5年12月中旬予定
会場	大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室